

安全データシート(SDS)

【1. 化学物質及び会社情報】

製品名 クオクリア光触媒液
単一製品・混合物の区別 混合物
使用用途 消臭、抗菌、防汚

【2. 危険有害性の要約】

GHS分類

健康に対する有害性
眼刺激性 区分外(つなぎの原則、10%未満)
特定臓器の単回暴露 区分外(つなぎの原則、20%未満)
物理化学的危険性
引火性液体 区分外(実測結果=引火性はない)

【3. 組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別 : 混合物(チタン化合物水溶液)

成分化学名	化学式	含有量 (%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No
水(製精水)	H ₂ O	94.9以上	231-791-2	7732-18-5
イソプロパノール	(CH ₃) ₂ CHOH	5.0未満	2-207	67-63-0
その他成分(チタン化合物)		0.1未満	各成分登録済	各成分登録済

【4. 応急措置】

吸入した場合 空気の新鮮なところに移動する。
皮膚に付着した場合 水で洗う。
眼に入った場合 清浄な流水で洗い流す。
飲み込んだ場合 口をすすぎ、うがいをする。多量に飲み込んだ場合は医師の処置を受ける。
予想される急性症状及び遅発性症状 情報はない

【5. 火災時の措置】

消火剤 この製品自体は燃焼しない。
使ってはならない消火剤 特になし。
特有の危険有害性 特になし。

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項 特になし。
環境に対する注意事項 特になし。
回収、中和 容器に回収する。もしくはウエス、雑巾等で拭き取る。水で流す。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い 技術的対策 水と同様の取り扱いで問題ないが、飲用には適さない。
取り扱い時には、必要に応じて保護具を着用。
局所排気・全体換気 必要に応じて、局所排気・全体換気を行う。
安全取り扱い注意事項 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
この製品を使用するとき、飲食又は喫煙はしないこと。
目、皮膚等への接触を避ける。取り扱い後はよく手を洗う。

保管	技術的対策 保管条件	保管場所は、耐火設備とし、製品が汚染されないように清潔にする。 可燃物及び禁忌物質から離して保管する。 直射日光、急激な温度変化等を避け、涼しい屋内に保管する。 容器は密閉して換気の良い場所で保管する。
	混触危険物質 容器包装材料	酸化剤 ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど。 金属、ゴム容器は使用しないこと。

【8. 暴露防止及び保護措置】

管理濃度	設定されていない。
許容濃度	設定されていない。
設備対策	設定されていない。
保護具	
呼吸器の保護具	必要に応じて呼吸器の保護具を着用
手の保護具	必要に応じて保護手袋着用
目の保護具	必要に応じて保護眼鏡を着用
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて保護具を着用
衛生対策	使用時は飲食又は喫煙をしないこと。

【9. 物理的及び化学的性質】

物理的状态	形状・色	無色透明液
	臭い	芳香臭(弱いアルコール臭)
	PH	強酸性
	融点	0.0℃
	沸点	99.98℃
	引火点	不燃性
	爆発範囲	データなし
	蒸気圧	データなし
	密度	0.988~0.994(20.0℃)
	溶解度	水、アルコール等に溶くと分解する。
	オタクノール/水分分配係数	データなし
	自然発火温度	不燃性
	分解温度	データなし
	粘度	非該当

【10. 安定性及び反応性】

安定性	通常の取り扱い条件において安定である。 溶解、希釈をすると分解し、白濁、沈殿する。
危険有害反応可能性	特になし
避けるべき条件	日光、熱
混触危険物質	特になし
危険有害な分解生成物	特になし

【11. 有害性情報】

区分外

【12. 環境影響情報】

データ不足のため分類できない

【13. 廃棄上の注意】

残余廃棄物	関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。 一般的に、中和し、汚泥を廃棄物処理法に基づき処理する。
汚染容器及び包装	容器は関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

【14. 輸送上の注意】

国内法規制

陸上輸送: 労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。

国際法規則

航空輸送はIATAの規則、及び、海上輸送はIMDGの規則に従う。

国連分類・国連番号

国連の基準上危険物に該当しない。

特別の安全対策

製品容器が破れないように注意し、乱暴な取り扱いを避ける。

荷崩れ防止措置を行なう。

「漏出時の処置・漏出時の措置」、「取り扱い及び保管上の注意」を参照。

【15. 適用法令】

労働安全衛生法

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

消防法

非該当

船舶安全法

非該当

航空法

非該当

海洋汚染防止法

非該当

【16. その他の情報】

用途(当該製品規格に限定されない一般的な用途。規格により用途は相違する。)

消臭剤、抗菌剤、防汚剤、防カビ剤、各種添加剤

参考文献

自然発火 その実態と予防対策 化学技術誌MOL

このデータは作成の時点における知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取り扱いには十分注意